

★新しい学校の姿、「義務教育学校」に移行、開設することについてのご意見★

児童生徒の減少や人口減少を止めるためにも今が決断の時だと感じた。小中学校が一体になることで、学校行事が一緒になり親の仕事の負担も減らせると思う。

年代の異なる子どもたちが、同じ敷地で学ぶことはよい刺激になると思う。

中学校で学び方が変わるより、9年間一貫した考え方で学べることがよりよいと思う。

義務教育学校に移行した際のメリット、デメリットがはっきりとしていないため、開設するか否かの判断がつきにくい。

義務教育学校の具体的な課題と対策が現状では明確になっていないため、よいか悪いか判断がつかない。

施設一体型の義務教育学校になることのメリットもわかるが、今一つ想像がつかない。今までの小学校6年、中学校3年のイメージが強い。固定概念をなくすことはないといけない。

義務教育学校についての説明を聞いたが、実際に義務教育学校になった際の学校の姿や子どもたちの学校生活についてイメージができない。

時代の変化に柔軟に対応するためには必要な改革だと思う。子どもたちが寄島のことが好き、将来も寄島で生活したいと思えるようになってほしい。

中学生の学力向上を考えると、お互いに競争し合える、高めあえる友達は少人数より多い方がよいと思う。

義務教育学校で9年間の継続した学びとなるので、環境の変化が苦手な子にとっては安心感が生まれるのではないか。

中学校が他校へ編入する方法もあるかもしれないが、まずは寄島地域で義務教育学校として特色を持たせた教育を進めていくべきだと思う。

児童数が減りつつあり新たな学校の在り方も必要だと思うが、一方で義務教育学校となっても部活動など頑張れるものが少ないので、これまでと変わらないのではないかと思う。

先進的に取り組んでいる義務教育学校のメリットはもちろんのこと、デメリットについても、紹介してほしい。

中学生年代の大きい年齢のお兄さんやお姉さんと関わる、また、自分たちより小さい学年の子と関わる機会が増えることは思いやりの心をもててよいと思う。

「よりしま学」の推進やみんなのもやい広場、寄島の海や山の活用をはじめ、地域全体で教育に携わり、少人数のよさを生かした義務教育学校は必要だと思う。

子どもが少人数で学校生活を送ることに不安があったが、義務教育学校になると少しは人との関わりが増えのではないかと思う。

義務教育学校のメリットやデメリットを明確にして、デメリットが少なくなる取組になるように期待している。移行時期を明確にしてほしい。

年々子どもたちが少なくなっている。小中学校が一つになった方が、活気づき、いろいろと助け合っていけるのでよいと思う。

○貴重なご意見をありがとうございました。全てのご意見を紙面に掲載することができず申し訳ありません。「寄島地区(寄島中学校区)の今後の教育の在り方にかかるアンケート結果報告(速報値)」については、「よりしま未来力フェ」(寄島小学校内)に置いてありますので、ご覧ください。

○部活動についてもいろいろなご意見がございました。部活動の地域移行の流れがありますので、これらを踏まえて検討の必要があると考えております。